

# 明神ヶ嶽北方稜線スキー

国分 勉

■山行年月日:2023年3月5日

■メンバー:国分勉、斎藤美和子、大竹尚子、外島正明、窪田道男、佐藤利伊、阿部満孝、夏井圭太郎

■コース 胃集落 5:00 車デポ～上平集落 6:00 出発～市野集落(廃村)～大谷地溜池 7:40～P969/9:25～明神ヶ嶽 11:30～胃集落 13:40

3月初旬、この時期になると目の前に広がる明神ヶ嶽の北に延びる長いギザギザ尾根と真っ白な壁が気にかかって、いつかあの尾根を歩きたいと思っていた。

昨年も外島、栗田の3人で尾根の末端からアタックしたがスキーのトラブルと時間切れでp969での敗退となってしまった。再挑戦と声を掛けたら美和子さんが昨年のリベンジとばかり手を挙げた。すぐに8人のメンバーが集まった。朝6時集合でもいいかと思ったが、マー君の気合に押されて朝5時に胃集落に集合、お月様が西の空に沈んでいく。車をデポして上平に移動、無風快晴、気温も低く雪は締まっていたカリカリ。これ以上ない絶好のコンディション。6時にスキーをつけて除雪された雪の壁を越えて出発。市野集落(廃村)までは県道を20分ほど、雪が固く閉まっていて快適に進む。ここから大谷地(昭和39年に廃村、分校と思われる建物が残っている)までは林道を進む。堅雪と尚ちゃんのハイピッチで予想以上に早く大谷地

集落跡に着いた。さらに少し行くと大谷地溜池について(江戸時代に造られ、昭和31年に決壊、35年に復旧、元建設大臣福田赳夫の書で記念碑が立っていた)。溜池は完全に凍ってはいたが用心のため右岸を進み途中から氷にのる。尚ちゃんはのらないで行くと慎重だ。道男さんは最初から乗ってもよかったと言っていたが?



大谷地溜池の堰堤に行く

溜池の上流で左から入っている枝沢に入り休憩、8時、ここまではあまり陽のささない沢沿いなので雪も解けることなく快適。ここからは小沢に入る。沢は完全に埋まっており忠実に沢を詰める。傾斜の強くなってきた上部で右の尾根を目指してジグザグに登る。尾根上に出ると二次林ではあるが見事なブナ林となった。ここでホーさんの地図が2ページ目(ここまで結構長い距離を稼いだ)になったと笑わせる。間もなくp969となり会津盆地が見えてきた。いくつかピークを越すときれいに開け、正面に磐梯山、会津盆地が一望できる所でしばしの休憩。さらにアップダウンを繰り返すと

柳津町との郡境のピークとなる。一息ついてさらに 3 つのピークを越すと予定より早く 11 時 30 分明神ヶ嶽の山頂についた。p 969 からの稜線は平地から見るのとは違い雪庇もさほど発達しておらずブナと広葉樹に覆われた広く気持ちのいい尾根でした。

12 時 30 分滑降開始、私も不安ながらスキーで降りることにチャレンジ。堅雪に少し積もった斜面は最高のバーン、あっという間に狭間峠から振り子坂、ここも日影のバーンで雪は腐っておらず気持ちいい滑りだ。カリカリの杉林を抜け林道にてゆっくりと休憩。

大岩からの林道はモービルの跡と堅い雪面ですごいスピードがでる。セーブするのに必死で足にきてしまい時々立ち止まってしまう。13 時 40 分胃集落に到着。あっという間の下りであった。

好天、堅雪と好条件に恵まれ予定より 1 時間以上早く着いた。上平集落に車を回収に行き、新鶴温泉につかり解散。

総距離 12 キロの長いルートでしたが充実した楽しい山行となった。

明神ヶ嶽のスキー山行には美和子さんとは何度も同行しているんな思い出がありました。今年からはいないのかと思うと残念でなりません。



快晴の明神ヶ嶽山頂（右から 3 人目が美和子さん）

